



森の幼稚園へようこそ
港区立白金台幼稚園



園だより10月号

令和4年9月29日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台 3-7-1
(3443)
5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>
「わくわくまつり」

輪になってサンサン音頭



おみこし わっしょい



「忍者だ！」お祭りのコーナー



わくわくまつり 大盛況！

園長 新井 智子

秋の台風が去った日、森の幼稚園の「わくわくまつり」が開催されました。子どもたちは、この日をずっと前から楽しみにしていました。当日、法被を着て保護者の皆様が用意してくれたお店を回りました。毎日のように準備を進めてくださったお祭り委員さんをはじめとする保護者の皆様、本当にありがとうございました。今年は未就園の親子もお招きすることができ、一層賑やかなお祭りになりました。お店の方々は、5歳児には挑戦の楽しさが味わえるような難易度のある内容で雰囲気盛り上げ、4歳児には友達とペアで自分たちだけで回っていることを認めながら、ちゃんと全部のお店が回れるか心配りをしてくださり、3歳児親子には、ゆったりと楽しめるよう優しく接してくださいました。5歳児保護者の皆様は、3年間の幼稚園生活で経験した子どもたちとの関わり方、遊びの楽しみ方が自然に身に付いており、笑顔で体現してくださいました。お祭りが終始和やかで活気ある場となったのは、お祭り委員さんの細部に心配りのあるお祭りの内容と、5歳児の保護者の皆様の「子どもたちのために」という一心で力を尽くしてくださいました賜物だと思います。

子どもたちは、工夫を凝らした5つのお祭りのお店を楽しんだ後は、時間のゆとりがあり園児全員で「サンサン音頭」を踊りました。お神輿を真ん中に大きな輪が広がり、子どもたちは互いの笑顔を見合いながら元気に踊りました。こうして踊るのは、3年ぶりになりました。

お祭りのトリを飾るのは5歳年長児のおみこしです。他学年の幼児や保護者に囲まれ、「わっしょい！ わっしょい！」と担ぎ手も観客も一緒に掛け声をかけ、園庭を練り歩きました。そして、担ぎ終わると、日本の風習である「一本締め」をし、行事が無事に終わったことの感謝を表しました。お祭りのおみこしを担ぐ掛け声「わっしょい」は、一説には「和をみんなで背負う」からきているそうです。人々が輪になって一つになって和を感じる素敵な「わくわくまつり」でした。

< 10月の指導のねらい >

3歳児

- 自分の思いを教師や友達に言葉や動きで表しながら、好きな遊びを楽しむ。
- 教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かす楽しさや心地よさを味わう。

4歳児

- 友達と遊びの場や遊びに使うものをつくったり、思いや考えを伝え合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな運動遊びに取り組み、自分なりに力を出す喜びや友達と動きを合わせる楽しさを味わう。
- 秋の自然や栽培物に関心を持ち、変化に気付いたり遊びに取り入れたりする。

5歳児

- 当番や行事への取り組みの中で、仲間の一員としての自覚を持ち、役割を果たしたり自分の力を発揮したりする喜びを感じる。
- 「森のわくわく3デイズ」に向けて、友達と考えを受け止め合い、みんなで一緒にやり遂げた達成感を味わう。
- 季節の移り変わりや栽培物の生長に気付き、自分たちの遊びに取り入れたり、収穫に期待をもったりする。



